

連銀の記者会見にピーター・ドゥーシーが必要だ

ジェローム・パウエル連銀議長の記者会見で最も面白かったのは、トランプ次期大統領がパウエル氏を解任するのでは、と記者が質問したときでした。あの質問がなければ、ほとんどの質問は、フェデラル・ファンド金利がいつ、どれくらい引き下げられるかについてでした。

なぜこのようなことを取り上げたかという、連銀の記者会見に参加できる記者は限られており、議会での公聴会を除けば、国民が質問できる唯一の機会だからです。もし記者団がニュー・ジャージー州の無人機について質問したら、もう二度と呼ばれないでしょう。しかし、決して質問されることのない非常に明白で重要な質問がいくつかあるように思えます。「連銀記者団のピーター・ドゥーシー氏」（フォックス・ニュースのホワイト・ハウス記者）となるのは誰でしょうか？

そこで弊社は、限界に挑戦しようとする報道関係者が登場した場合に備えて、いくつかの質問を提案してみました。

まず、2年ほど前、連銀は「スーパーコア」と呼ばれるインフレ指標に注目しました。当時、スーパーコア・インフレは全体的なインフレよりも緩やかでした。現在、スーパーコアのCPI版は過去1年間で4.3%上昇し、1年前よりも上昇しています。PCE版は11月までの1年間で少なくとも3.5%上昇し、連銀のインフレ目標である2.0%を大きく上回りそうです。それなのに最近、連銀はスーパーコアを無視しているようです。何が変わったのでしょうか？連銀はスーパーコアの有用性について考え直したのでしょうか？もしそうなら、なぜ連銀は考えを変えたのでしょうか？それとも、スーパーコアについて語るのをやめたのは、インフレが安定から程遠いというスーパーコアからのメッセージのためなのでしょうか？

第二に、COVIDの最初の2年間で、マネー・サプライであるM2指標が40%以上急増し、その後40年間で最も高いインフレ率となりました。その後、M2は減少し、当初はインフレ率も急速に低下しました。これらは単なる偶然だと思いますか、それともマネー・サプライを注視することが連銀が将来のインフレ動向を予測するのに役立つと思いますか？COVID時代のインフレ動向をM2よりも的確に予測できた指標を他にご存知でしょうか？もしそうなら、高インフレに見舞われる前や、インフレは「一過性」だと主張していた頃に、なぜM2を注視しなかったのでしょうか？

第三に、連銀は過去2会計年度それぞれで年間約1,000億ドルの営業損失を出しています。これらの損失は財務省が一般歳入から補填しています。それにもかかわらず、全米の連邦準備銀行は、金融以外の研究に出費し、出版しています。

例えば、シカゴ連銀は育児問題や鉛の水道管について非常に懸念を抱いております。しかし、こうした問題に力を入れている政府機関は他にも複数あります。連銀は莫大な損失を出している現在、少なくともこれらの活動に税金を使うのを一時的に止める責任を感じていないのでしょうか？過去2年間の調査のうち、連銀の管轄外（法律上、金融政策と銀行規制とされている）に関するものはどのくらいあるのでしょうか？連銀はこれらの主要テーマ以外で、他にどのような取り組みに税金を投入しているのでしょうか。連銀がどのような研究に資金を提供するかは、連銀自体が決めるべきだと思いますか？連銀が研究費やその他の支出に対して金額制限がありますか？

残念ながら、パウエル議長にこのような質問をする記者はいないでしょう。しかし、もしかしたら新しい政府効率局（DOGE）がこのような質問をするかもしれません。誰かが聞く必要があるのです。連銀のバランス・シートは2008年のQE開始以来約7倍（700%）に膨れ上がっており、議会からもホワイト・ハウスからも報道機関からもほとんど監視されずにこのようになっているのです。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサ ス	ファースト トラスト予測	発表結果	前回
12-16 / 7:30 am	ニューヨーク連銀製造業景気指数 - 12月	10.0	2.3	0.2	31.2
12-17 / 7:30 am	小売販売 - 11月	+0.5%	+0.6%		+0.4%
7:30 am	小売販売 (除く自動車) - 11月	+0.4%	+0.5%		+0.1%
8:15 am	鉱工業生産 - 11月	+0.3%	+0.3%		-0.3%
8:15 am	設備稼働率 - 11月	77.3%	77.3%		77.1%
9:00 am	企業在庫 - 10月	+0.1%	+0.1%		+0.1%
12-18 / 7:30 am	新規住宅販売高 - 11月	1.344 百万	1.340 百万		1.311 百万
12-19 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 12月14日	230,000	233,000		242,000
7:30 am	GDP 最終値 - 第3四半期	+2.8%	+2.8%		+2.8%
7:30 am	GDP 連鎖物価指数 - 第3四半期	+1.9%	+1.9%		+1.9%
7:30 am	フィラデルフィア連銀製造業景気指数 - 12月	2.8	2.5		-5.5
9:00 am	中古住宅販売高 - 11月	4.100 百万	4.130 百万		3.960 百万
12-20 / 7:30 am	個人所得 - 11月	+0.4%	+0.4%		+0.6%
7:30 am	個人支出 - 11月	+0.5%	+0.5%		+0.4%

コンセンサス予測はブルームバーグ社が提供するものです。このレポートは、First Trust Advisors L.P.によって作成されたものであり、著者の意見を反映したものです。正確且つ信頼できる情報源とデータに基づいたものです。意見および将来の見通しに関する記述は、予告なしに変更される場合があります。この情報は、証券の売買の勧誘または売り出しを目的とするものではありません。